

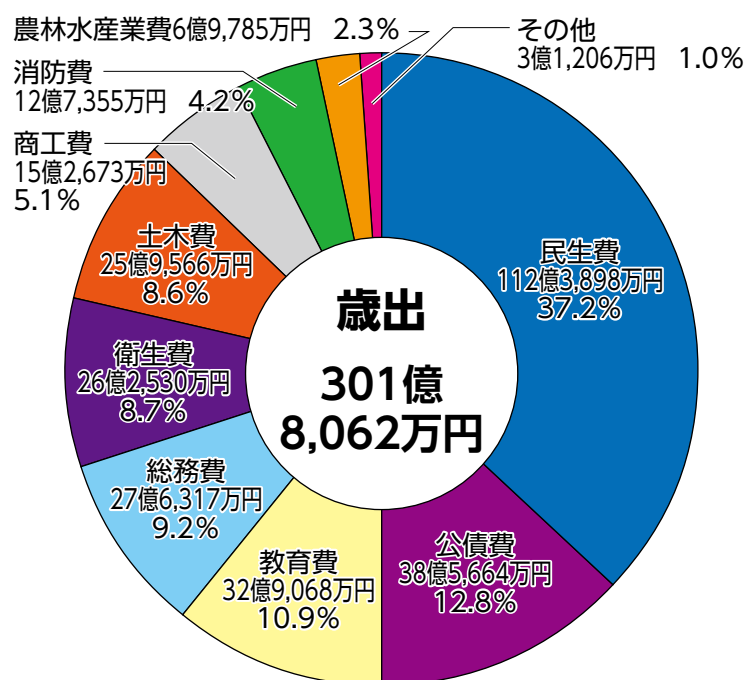
◎債務負担行為の状況

区 分	平成29年度末残高
一般会計	71億 1,082万円
学校給食センターの建設 および運営に係るもの	65億 6,043万円
その他	5億 5,039万円
特別会計	9億 362万円
合 計	80億 1,444万円

◎市債の状況

区 分	平成29年度末残高
第三セクター等改革推進債	103億 323万円
臨時財政対策債	159億 5,324万円
そ の 他	130億 2,673万円
一般会計 合計	392億 8,320万円
下水道事業債	78億 990万円
駐車場整備事業債	1億 8,007万円
特別会計 合計	79億 8,997万円
総 計	472億 7,317万円

◎一般会計歳出



◎旧茂原土地開発公社の解散時に活用した第三セクター等改革推進債の状況

借入総額 (平成24年10月)	13,089,400,000円
平成28年度末 残高 (元金)	11,072,448,089円 (A)
平成29年度中に償還した元金	769,218,573円 (B)
上記に係る利子	177,078,513円
平成29年度末 残高 (元金) (A)-(B)	10,303,229,516円

◎旧茂原市土地開発公社から市に代物弁済された土地等からの収入の状況

平成29年度中の土地売払収入	26,650,000円
平成29年度中の土地貸付収入等	14,902,284円
平成29年度中の旧土地開発公社代物弁済の土地収入合計	41,552,284円

※収入は全て第三セクター等改革推進債の繰上償還の財源としています。

◎健全化判断比率と資金不足比率

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき、健全化判断比率（4つの財政指標）および公営企業の資金不足比率を公表します。平成29年度決算に基づく市の比率は、いずれも基準を下回っています。

なお、いずれかの比率が早期健全化基準（経営健全化基準）以上となった場合には、議決を伴う財政健全化計画策定や外部監査の要求の義務付けなどとともに、自主的な改善努力による財政健全化が求められます。また、財政再生基準以上となった場合には、国等の関与の下で財政再建を図ることとされています。
(単位：%)

健全化判断比率	平成29年度決算	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	—	12.58	20.00
連結実質赤字比率	—	17.58	30.00
実質公債費比率	10.3	25.0	35.0
将来負担比率	100.3	350.0	

資金不足比率	平成29年度決算	経営健全化基準
下水道事業会計	—	20.0
農業集落排水事業会計	—	20.0

用語の解説

実質赤字比率…一般会計などにおける赤字額合計の大きさ

連結実質赤字比率…市の全会計における赤字額合計の大きさ

実質公債費比率…市の標準的な収入に対する公債費およびこれに準ずるものの額の割合

将来負担比率…市の標準的な収入に対する将来負担すべき実質的な債務の割合

資金不足比率…公営企業の資金不足(赤字)額の大きさ